

月刊 **TENGA** 2018  
5.28  
創刊号

**特集**

---

**マスターベーション**

全18ヶ国・世界人口の57%を網羅

**世界調査** **結果  
発表**

## 「マスターベーション」に関する性教育の受講経験、日本は世界最下位

- 10代の頃に「性教育」を習った人の割合、日本は53%で、世界的には中央水準
- 一方、性教育で「マスターベーション」をトピックスとして習った人は12%で、世界比較で最下位
- もっと習うべきトピックス、上位は、1位「性的暴行およびハラスメント」2位「STD」3位「性交の同意」4位「セックス」5位「マスターベーション」

株式会社TENGA（東京都港区三田1-7-1、代表取締役社長 松本光一）は、「マスターベーション世界調査 (TENGA Global Self-Pleasure Report)」を実施しました。本調査は、ヨーロッパ、北米、南米、アフリカ、アジアの、世界様々な文化圏の18か国を網羅的に対象として実施したもので、18歳から74歳の13,039人にアンケートを行いました。調査対象の18か国の人口を合計すると、世界の総人口の57%にあたります。この規模の人数・国家を対象に行ったグローバル調査は、世界的に見ても初の試みで、TENGAとしても世界を対象とした調査を行うのは今回が初めてです。

〈主な調査結果〉

### Topics

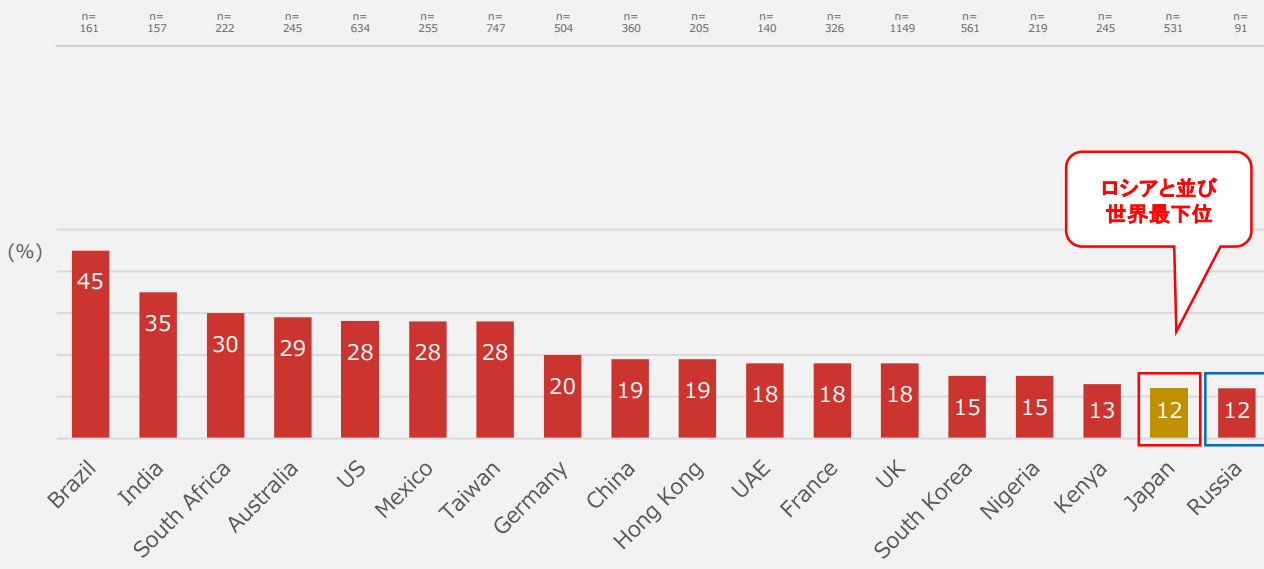
①

## 「マスターベーション」に関する性教育の受講経験、日本は最下位

性教育の授業で「マスターベーション」を習った日本人はわずか12%で、マスターベーション初体験が最も若い日本人が、世界で最も「マスターベーション」を学んでいない

### Q: 次のうち、性教育の一部としてマスターベーションは取り上げられましたか？

※性教育を受けた人のうち、取り上げられたトピックスのひとつとして、「マスターベーション」とチェックした人の割合を%で図示



ロシアと並び  
世界最下位

### Topics

②

## 日本人の約6割が「マスターベーション」を「性教育でもっと習うべき」と回答

### Topics

③

もっと習うべきトピックス、「性的暴行およびハラスメント」などに加え、「マスターベーション」も上位に

### 「習ったトピックス」と「もっと習うべきトピックス」の差

- 1位 性的暴行 および ハラスメント +49%
- 2位 STD +36%
- 3位 性交の同意 +26%
- 4位 セックス +16%
- 5位 マスターベーション +13%

※調査結果の詳細は、次頁以降をご確認ください。

| 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 (東京都渋谷区渋谷1-17-1 TOC第2ビル)

TEL : 03-5774-0980 / FAX : 03-5774-0981 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp / 担当 : 森下・山内・菅原・中尾

# 「マスターベーション」に関する性教育の受講経験、日本は世界最低水準

性教育の授業で「マスターベーション」を習った日本人はわずか12%で、マスターベーション初体験が最も若い日本人が、世界で最も「マスターベーション」を学んでいない

## ■日本の性教育受講経験は、世界的には中ほどの水準

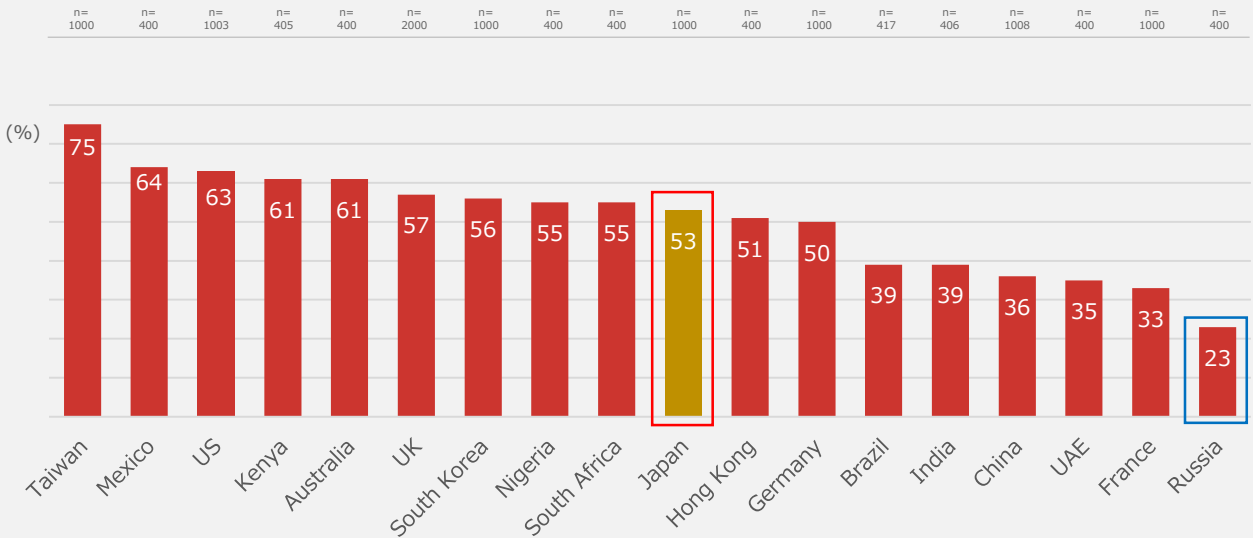
世界18カ国を対象に、自身が子どもの頃または十代の頃に学校現場で性教育を受けたことがあるかをきいたところ、日本人男女(n=1,000)の約半数にあたる53%が「**受けたことがある**」と回答。この結果は、**世界的には真ん中にランクイン**しています。

尚、最も性教育に熱心な国としては台湾(75%)、逆に性教育を習ったという回答の最も少なかった国はロシア(23%)という結果になりました。



### Q: 子供の頃または十代の頃に、学校で性教育を受けましたか？

※はいと回答した割合を「%」で図示



## ■性教育で「マスターベーション」を習った経験は世界最下位

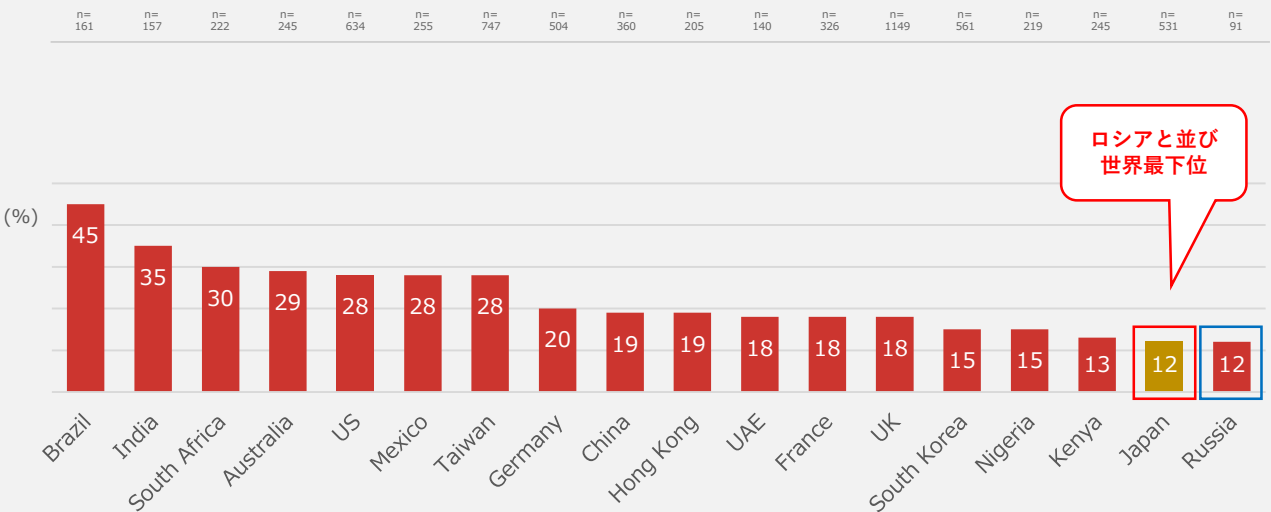
一方で、上記の質問に加えて「性教育として取り上げられたトピック」をきいたところ、性教育で「マスターベーション」について習ったと回答した人の割合はいずれの国も半分以下となり、**日本においてはわずか12%**という結果になりました。

日本は、性教育自体の実施率が低いロシアと並び、最低水準の結果となっています。



### Q: 次のうち、性教育の一部としてマスターベーションは取り上げられましたか？

※性教育を受けた人のうち、取り上げられたトピックのひとつとして、「マスターベーション」とチェックした人の割合を%で図示



ロシアと並び  
世界最下位

## ■本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 (東京都渋谷区渋谷1-17-1 TOC第2ビル)

TEL : 03-5774-0980 / FAX : 03-5774-0981 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp / 担当 : 森下・山内・菅原・中尾

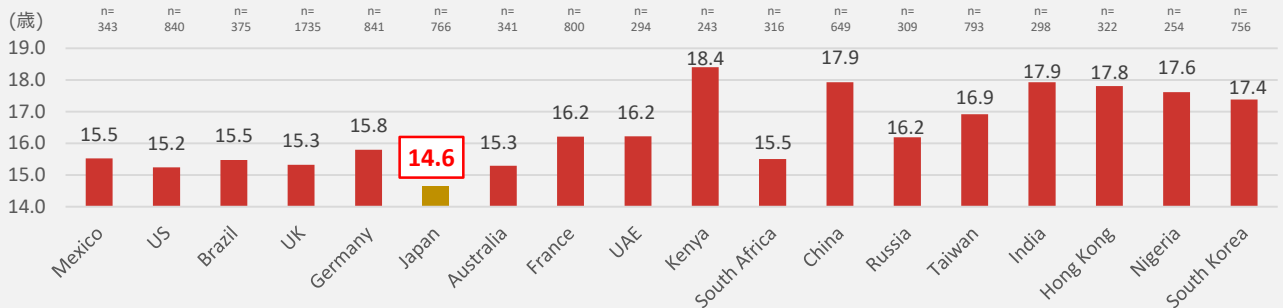
## ■マスターベーション初体験が最も若い日本人が、世界で最も「マスターベーション」を学んでいない

日本人の男女1000人（男性483名、女性517名）のうち、週1以上マスターベーションをすると回答した766名を対象に、自身のマスターベーションの初体験年齢をうかがったところ、男女合わせた全体平均は14.6歳となり、世界18か国中最も若い年齢でマスターベーションを初体験していることが分かりました。

しかし、先述の性教育の授業でマスターベーションを習ったことがある日本人は、わずか12%で世界最下位となっていました。この2つの結果から、日本人のマスターベーション初体験年齢は世界で最も若いにも関わらず、教育現場ではマスターベーションの話はあまりされていない現状がわかりました。



### マスターベーションを初めて体験する平均年齢 「週1回以上マスターベーションをする」と回答した人に聞いた結果



## ■世代別でも性教育トピックスに変化、若いほど「性病(58%)」「マスターベーション(21%)」「性的暴行およびハラスメント(18%)」を習う

日本国内の性教育事情はどうかを探るべく、性教育内容を男女別、年齢別でも分析しました。

「マスターベーション」に関しては、男性の方が性教育の授業で習う機会が多くなっていますが、それでも5人に1人(20%)という割合になっています。女性に関してはわずか7%しかおらず、女性がマスターベーションを習う機会はほとんどない状況にあります。

また、年齢別で見ると、若い年齢になるほど「性病(58%)」「マスターベーション(21%)」「性的暴行およびハラスメント(18%)」について習った事がある割合が多い傾向にあります。これらの結果から、上記トピックスが年々重視されてきているという傾向を表しているのではないのでしょうか。

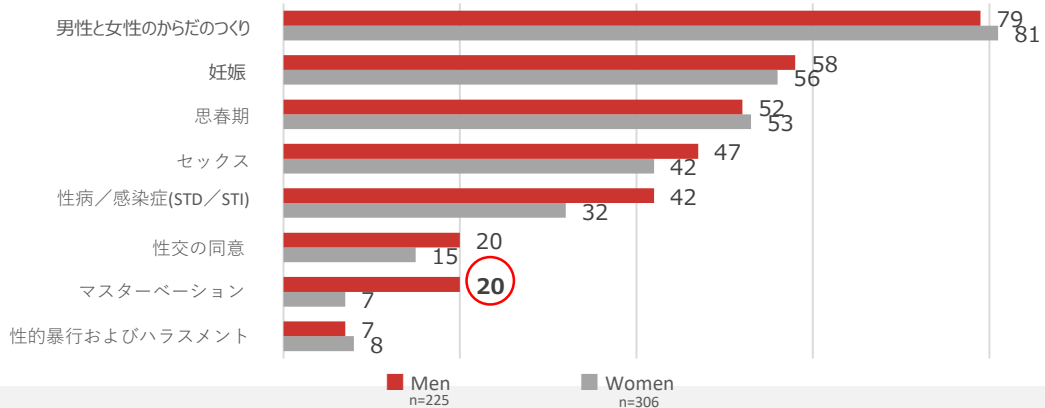


### Q: 次のうち、性教育の一部として取り上げられたトピックはどれでしたか？

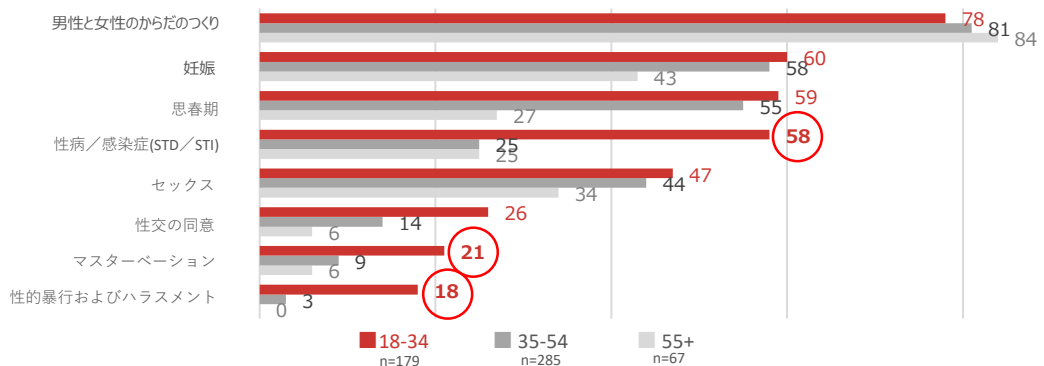
性教育を受けたと回答した人の内

(%)

#### 【男女別】



#### 【年齢別】



### ■本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 (東京都渋谷区渋谷1-17-1 TOC第2ビル)

TEL : 03-5774-0980 / FAX : 03-5774-0981 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp / 担当 : 森下・山内・菅原・中尾

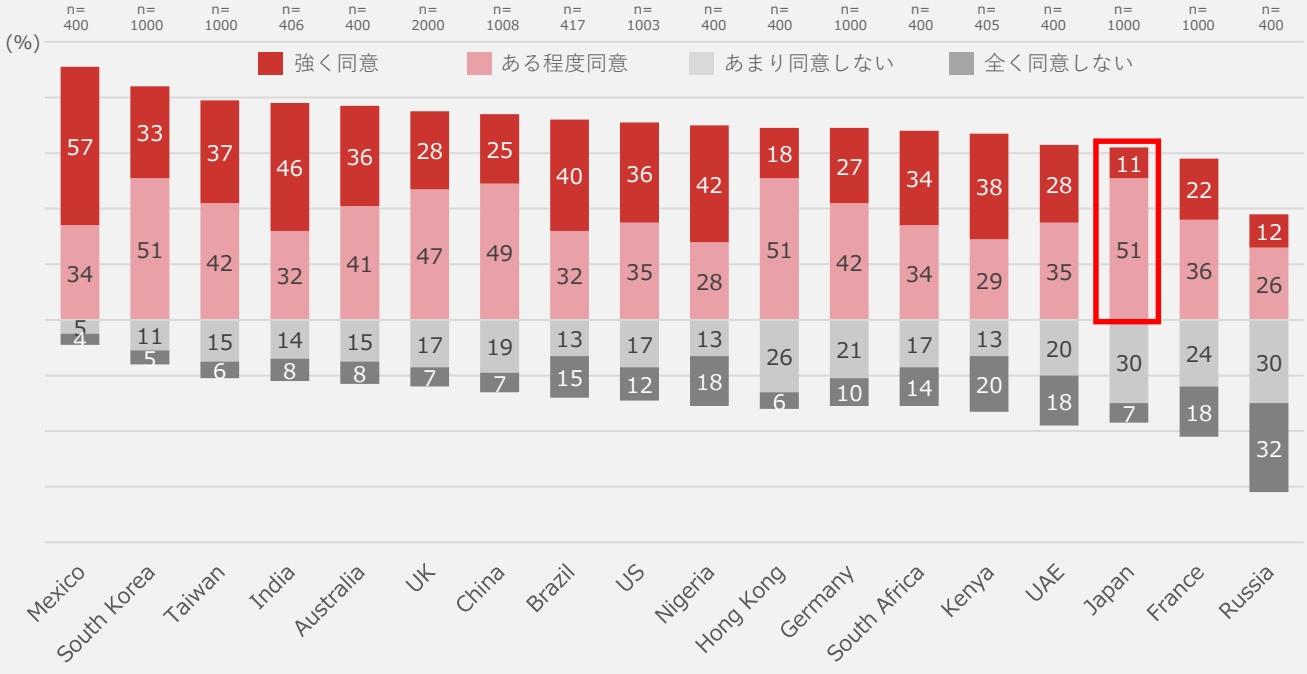
# 日本人の約6割が「マスターベーション」を「性教育でもっと習うべき」と回答

## ■世界的に「マスターベーション」は性教育で習うべきと回答

学校などでの性教育で「マスターベーション」があまり扱われない現状を踏まえ、「性教育でマスターベーションを習うべきか」との質問をしたところ、6割以上(62%)の日本人は、マスターベーションを性教育で習うべきと回答。

また、他国の結果を見ても、性教育自体の受講経験率の低いロシアを除き、「マスターベーション」のトピックスは取り扱われるべきだと考えている人が、過半数いることが分かりました。

Q: 子供および十代のための性教育でのトピックとして、マスターベーションが取り扱われるべきだということに、どの程度同意または反対しますか？



# もっと習うべきトピックス、「性的暴行およびハラスメント」「性病／感染症」などに加え、「マスターベーション」も上位に

## ■「習ったトピックス」と「もっと習うべきトピックス」の差でも「マスターベーション」が5位にランクイン

また、性教育で「習ったトピックス」と「もっと習うべきトピックス」の差を、+の数値が大きかった順にランキングしてみると、「性的暴行」や「性病」などのトピックスに並び、「マスターベーション」が+13%で5位となっています。

### 「習ったトピックス」と「もっと習うべきトピックス」の差

- 1位 性的暴行 および ハラスメント +49%
- 2位 STD +36%
- 3位 性交の同意 +26%
- 4位 セックス +16%
- 5位 **マスターベーション +13%**

マスターベーションの知識や実態については、生活の場だけでなく、性教育の現場でも知ることが難しいと明らかになりました。不適切なマスターベーションを続けていると、男性の場合不妊の原因につながることもあり、適切な知識の啓発は重要だと我々は考えます。

月刊TENGAは、今回のような多様なリサーチ等を継続し、皆様により意義と価値のある情報を収集・提供していきたいと考えています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 (東京都渋谷区渋谷1-17-1 TOC第2ビル)

TEL : 03-5774-0980 / FAX : 03-5774-0981 / MAIL : tengapr@publicgood.co.jp / 担当 : 森下・山内・菅原・中尾

# 「マスターベーション世界調査」概要

## TENGA Global Self-Pleasure Report

日本をはじめとする、世界各国の性やマスターベーション、健康、ウェルネス、セクシャリティ、男性像の実情などを、十分に理解し・ファクトを把握することを目的にTENGAが行った調査です。世界様々な文化圏の18か国から、それぞれ標本サンプルとなる人数を対象にネット調査を実施しました。

本調査は、ヨーロッパ、北米、南米、アフリカ、アジアの、世界様々な文化圏の18か国を網羅的に対象として実施したもので、18歳から74歳の13,039人にアンケートを行いました。調査対象の18か国の人口を合計すると、世界の総人口の57%にあたります。

「マスターベーション」について、この規模の人数・国家を対象に行った大規模なグローバル調査は、世界的に見ても初の試みで、TENGAとしても、世界を対象とした調査を行うのは今回が初めてです。今回の調査では、本稿に掲載したトピックスのほか、様々な結果が明らかとなりました。詳細なデータをご希望の方は、ぜひお気軽にご連絡ください。

### 【調査概要】

標 題 : マスターベーション世界調査 (TENGA Global Self-Pleasure Report)

調査主体 : TENGA

調査期間 : 2018年2月20日～ 2018年3月22日

調査方法 : インターネット調査

調査機関 : PSB

調査対象 :

	US	UK	Germany	France	Japan	China	Taiwan	S. Korea	Mexico	Brazil	Nigeria	Kenya	S. Africa	Russia	UAE	India	Hong Kong	Australia	
	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	n=	
	1003	2000	1000	1000	1000	1008	1000	1000	1000	417	400	405	400	400	400	406	400	400	
Male	49.2%	48.8%	48.8%	48.4%	48.3%	50.7%	49.7%	49.3%	48.0%	46.9%	51.0%	50.0%	49.0%	46.0%	72.3%	51.5%	45.1%	49.3%	
Female	50.8%	51.2%	51.2%	51.6%	51.7%	49.3%	50.3%	50.7%	52.0%	53.1%	49.0%	50.0%	51.0%	54.0%	27.7%	48.5%	54.9%	50.7%	
18-24	12.4%	11.3%	12.9%	15.2%	11.0%	15.3%	16.6%	16.1%	26.7%	17.3%	34.7%	35.0%	26.8%	12.5%	20.2%	19.1%	11.1%	17.8%	
25-34	17.9%	17.2%	13.7%	15.2%	12.1%	20.0%	20.8%	18.0%	22.0%	25.1%	26.5%	29.0%	25.0%	20.3%	39.4%	24.6%	16.2%	21.2%	
35-44	16.2%	16.1%	16.0%	17.0%	15.6%	18.7%	18.8%	20.5%	19.5%	20.3%	16.9%	26.0%	18.3%	17.5%	25.5%	21.2%	17.7%	17.9%	
45-64	33.8%	32.6%	33.6%	32.0%					23.0%	27.6%			22.3%	33.0%					28.1%
65-74	19.7%	22.8%	23.8%	20.6%	61.3%*	46.0%*	43.8%*	45.4%*		8.8%	9.7%	21.9%*	10.0%		14.9%*	35.1%*	55.0%*		15.0%

### TENGAによる、性教育に関する過去の活動レポート :

#### ■ 日本福祉大学の講義「思春期のセクシュアリティ」での講演

「ヘルスプロモーションとしてのマスターベーション」というタイトルで、子ども発達学部の学生さんに向け、思春期の心の発達過程や性との付き合い方について講演を行いました。

<https://tengahealthcare.com/column/247>

#### ■ 若手僧侶の会での講演

中学生に向けて性教育を行う、浄土真宗本願寺派に所属する僧侶・古川潤哉さんの主宰する会で、セクシュアル・マイリリティの講演を行っていました。

<https://tengahealthcare.com/column/245>

#### ■ 一般社団法人“人間と性”教育研究協議会(性教協)主催セミナーへの参加

<https://tengahealthcare.com/column/243>

#### ■ 日本思春期学会への参加

<https://tengahealthcare.com/column/239>



月刊TENGAとはTENGAの製品やニュースだけでなく、性にまつわる様々な情報を定期的に提供するニュースレターです。“面白おかしさ”を大切にしつつも、性と真正面から向き合い、真面目に作り続けてきたTENGAだからこそ発信できる、硬軟様々な情報を届けます。様々な文献や歴史、そして人物、市場情報など多様なリサーチと開発を継続し、皆様により意義と価値のある情報を提供できればと考えています。性に関するストレスが少しでも軽減されたり、親しい誰かに相談するきっかけを作ったりと、性の悩みを和らげられる社会づくりへの貢献をめざします。

### 「月刊TENGA」バックナンバー

<https://www.tenga.co.jp/topics/category/g-tenga/>

#### ● その他、参考URL

TENGA 公式オンラインストア <http://store.tenga.co.jp/>  
TENGA コーポレートサイト <https://tenga-group.com>

### | 本件に関するお問い合わせ先

月刊TENGA 広報事務局 | 株式会社パブリックグッド内 (東京都渋谷区渋谷1-17-1 TOC第2ビル)

TEL : 03-5774-0980 / FAX : 03-5774-0981 / MAIL : [tengapr@publicgood.co.jp](mailto:tengapr@publicgood.co.jp) / 担当 : 森下・山内・菅原・中尾